



2013-2014 シーズンチームスローガン: チームのためすべてを尽くす

~平成25年第22回全日本高校選手権大会出場~

## 1回戦は湘南学院に決定

関東4位優勝経験ある古豪

第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会は静岡県磐田市で1月10日開会式が行われ、11日から1回戦が始まる。大阪桐蔭高校は1回戦で湘南学院(関東第4代表/神奈川)と対戦が決まった。湘南学院は2年連続11回目の出場を誇り、1999年度優勝経験がある強豪。公式戦での対戦はこれまでないが、昨年は関東代表の十文字(東京都)に1回戦で敗れているだけに、レベルの高い地域を抜け出した相手に警戒すべきである。

1回戦の舞台は磐田スポーツ交流の里ゆめりあサッカー多目的グラウンド14時キックオフ、試合はTBS系列で報道が予定されている。準決勝から会場をヤマハスタジアムに移す。

### 目標は悲願の優勝

2年前大阪桐蔭高校は決勝の舞台に立った。常盤木学園に1-3で敗れたが3度目の挑戦で、頂点まであと一つに迫った。2年連続ファイナリスト進出を狙った昨年は1回戦、前回大会準決勝で勝利した十文字に敗れた。全国の舞台では安定した戦いはまだできていない。今年の目標はもちろん優勝である。

湘南学院は関東大会1回戦で前橋育英を6-1で破り、本庄第一とベスト4をかけて対戦、4-1で撃破し全国大会出場を決めた。過去11回出場を誇る強豪校だが良い準備をして勝利したい。

### 保護者主催壮行会

12月1日保護者主催による壮行会が本館食堂で行われた。各学年の出し物だけでなく、保護者からの歌のプレゼントやコーチへのサプライズ誕生日会で大いに盛り上がった。驚きは、8年間の歴史が詰まった公式戦用ユニホームを新調するというコーチから重大発表。出場記念のカバンも配られ新たな歴史が今年から始まる。全国大会に向けて更なる意欲がかきたてられた。

壮行会后、親子サッカーを行い一緒にサッカーをし、勝ち負けで喜んだり悔しがったり、家族の絆も深められた。また1、2年生には来年3月に行われるイタリアキャンプの説明会が行われた。

### 4クラブ合同催壮行会開催

全国出場を祝う会主催

12月14日大阪桐蔭アリーナでラグビー部、陸上部、女子サッカー部の全国大会壮行会と吹奏楽部全国大会銀賞とマーチング金賞の功績をたたえる会が生徒保護者、来賓を合わせ800人が集まり盛大に行われた。ラグビー全国大会は12月27日から開幕。Aシードの大阪桐蔭は30日9時30分から花園ラグビー場第1グラウンドで鹿児島工業と國學院栃木の勝者と対戦する。陸上部は12月22日京都で開催される全国高等学校駅伝競走大会に出場する。

また、4クラブは12月17日東坂浩一大東市長を表敬訪問した。議会場に案内され「大東市が誇る大阪桐蔭の名前を全国大会での活躍によって大いに広めてほしい」と激励の言葉を戴いた。

### スペランツァFCと試合

なでしこリーグ1部スペランツァFC大阪高槻との練習試合がNTT淀グラウンドで行われた。前半はなかなかシュートチャンスがなく相手に攻め込まれた。開始3分の早い時間帯に先制され、その後6分、22分に追加点を決められリードを広げられた。終了間際に持田がドリブル突破で決め一矢を報いた。スペランツァはなでしこ代表の丸山選手をはじめレギュラークラスが出場して我々には良い経験になった。

### セレッソホームJ観戦

11月30日、長居スタジアムでセレッソ

大阪vs鹿島アントラーズの試合を観戦した。今季ホーム最終戦となるセレッソは優勝の可能性のあるだけに、絶対勝利の強い気持ちが選手だけでなく会場の熱い声援で我々にも伝わった。前半は、両チームエースが魅せた。まずは、鹿島の大迫が落ち着いてプレーで先制点を手にした。続いてセレッソの柿谷がボールを持つと相手のDFを上手くかわし、そのままゴールとなりチームを立て直した。後半は、主導権を握ったのはセレッソ。柿谷を中心にゴールへ向かうが鹿島の堅い守りで得点を得られず、ロスタイムに入り鹿島の中村に決勝点を許し、悔しいホーム最終戦となった。気持ちが試合を左右すること、流れをつかむことがどれだけ大変で大切か分かった。

### 第22回全日本高校女子サッカー選手権大会 組み合わせ

